

留学体験レポート

国際文化学科 21017084 田宮 満帆

私は9月1日から12月27日までの約4カ月間韓国ソウル市にある慶熙大学校に留学してきました。

韓国での授業は、午前の授業は初めの1カ月間は、日本人のみのクラスで韓国語の文法とリスニングを主に受けました。もちろん授業がすべて韓国語なのではじめは慣れませんでした。先生方がいつも優しく教えてくださり質問などもしやすかったです。午後の授業はNUISの学生のみで韓国の映画や歌を習ったり、帰国前にする発表のためにゼミのようなこともしました。韓国の映画を見るときは字幕なしで見たのですが、リスニングの力がより向上したと思うので良かったです。10月からの約3カ月間の午前授業は、日本人だけでなくほかの外国から来た留学生も交えてのクラスで文法、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを詳しく勉強しました。私たちのクラスでは、中国やマレーシア、香港などたくさんの国の人がいました。話す言語が全く違う仲間とかかわるのは初めてで仲良くなれるか不安でしたが、何度も食事をしたり、話すうちにとっても仲良くなることができてとてもうれしかったです。修了式ではクラスの仲間との時間がとても濃く充実していたものだったので離れ離れになることがとても寂しかったです。そんな風に思えるような仲間が外国にもいると考えると、私ももっと一層韓国語学習に力を入れて頑張れる活力になると思います。

留学生活の中で、私たち留学生1人につき1人の韓国人学生がついてくれるトウミ制度ともがありました。私についてくれた韓国人学生の子は日本語を全く話すことができないのですべて韓国語でコミュニケーションをとらなければいけません。はじめは、知っている単語を並べてコミュニケーションをとることしかできなかったため、会話を広げることが難しく話したいことがうまく伝わらずに苦労しましたが、何回も会って話をするうちに話したいことも話すことができ楽しく会話することができて、韓国語を学習してきた成果が少しずつが目見えて感じる事ができて嬉しかったです。

初めて海外での生活ということもあって、日本に帰りたいなど思うことは正直ありましたが、留学を終え今、その時間がとても充実して有意義な時間だったと改めて思います。なかなかすることができない貴重な体験ができてとてもよかったです。